

設立趣旨書

特定非営利活動法人日本プロジェクト

1 趣旨

持続可能な地域社会を構築するには、生活環境の向上と地域産業の発展が重要であるとの考えのもと、調和的かつ活力あるまちづくりへの取り組みが強く望まれています。

一方、地域社会を取り巻く状況は、少子高齢化問題、教育問題、農林水産業等の後継者問題、過疎化等の様々な問題を抱えており、教育の充実など生活環境の向上や農業をはじめとする地場産業を如何に発展させていくかが課題となっています。

自立を目指す地域社会においては、意欲ある個人や事業の担い手それぞれが問題解決のための努力により、市民の生活環境の向上や地場産業等の発展を実現していくことで、魅力ある地域の創生や地域の活性化を図っていくことが理想的な姿といえます。

しかし、地域社会を取り巻く状況において解決しなければならない課題は多種多様であり、様々な分野が関係した複合的課題もあり、個人や事業の担い手等が自ら解決することは困難な状況にあります。

2 申請に至るまでの経過

私たちは、地域活性化の推進や社会問題の解決を図るためには、個々の努力が効果的に実を結ぶためのプラットフォーム（基盤）が必要と考え、長期的な視野に立った継続的な対応を行いつつ、新たに認識した問題等に対し迅速な対応を講ずるためのプラットフォーム（基盤）となる仕組みの構築が必要であると考えました。具体的には、地域の活性化を目的とした地域社会の課題解決のための次の2つのアプローチ、つまり、（1）教育・生涯学習分野等への長期的視野に立った継続的な対応を基本としつつ、（2）組織に属さない個人等も参加できるプロジェクトを実施するためのプラットフォーム（基盤）を提供していくことが必要であるとの考えに至りました。

地域活性化等のための活動を個人で行うことには限界があり、また、長期的視野に立った永続的な基盤のもとで行われることが不可欠です。地域活性化等を目的とするプロジェクトの実施にあたっては、地域住民、専門家やプロジェクトメンバーとして参加する意欲のある個人らの協力を得られやすく、さらに安定的に運営できる組織が必要であり、この度特定非営利活動法人日本プロジェクトを設立申請するに至りました。

なお、前身となる任意団体「わわわ」においては、いくつかの活動を既に実施しており、農業において農家が負っているリスクを分散させるためのコミュニティの構築に関するプロジェクト等を推進しているところです。